

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放) ぼんぼこはうす2		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 23日		令和8年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内が広く、ジャングルジムや滑り台で身体を使って楽しく遊ぶことができます。 ・緑のマットを敷いているスペースではブラレールや絵本、おもちゃで遊んでいます。	・身体を大きく使うことができるので、運動療育も行っております。 ・緑のマットを敷いているスペースで絵本を読む際には「緑のマットに来てね」と伝えることで、見てすぐにわかる、視覚支援を行っております	・定期的、日替わりで遊具を配置することによって「今日は何で遊べるのかな？」といった通所するにあたっての楽しみが増える。
2	・子どもが安心感を持って通所してくださっていること	・支援員と子どもとの信頼関係構築のため、子どもひとりひとりに合った支援や対応を心掛けています。	・支援員によって相違や偏りがないよう、職員教育を行います。
3	・室内にスケジュール・子どもが好きなイラスト・ボックスを掲示しています。	・視覚支援を行うことによって非言語的コミュニケーションを図ることができる。	・視覚支援の中に、子どもの目を引くキャラクターやイラストを入れる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子どもが過ごすスペースにおもちゃを置くことが難しい。そのため、カウンター内のキッチンスペースにおもちゃを置くことが多くなってしまふ。おもちゃが多いため、歩きづらい。	・おもちゃを子どもが過ごすスペースに配置すると、好きな時に自分でおもちゃを出してしまう。 ボックスで物のやりとりやコミュニケーションを取っているため、ボックスを使用する機会が減ってしまう。	・鍵付きの棚を子どもが過ごすスペースに配置し、ドア部分にボックスを貼り付ける。
2	・家族支援・交流会の開催が少ない	・ニーズ把握不足、交流会開催に向けての検討会が少ない	・モニタリングや送迎時の連絡等でニーズを把握する
3	・委員会でマニュアルを作成しているが、保護者に周知されていない	・発信不足	・Instagram、HP等での情報発信の場を設ける